

科目名	アパレルデザインⅢ				
担当教員	松田 大		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッション専攻科、 トータルファッション科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	コンペ入選を目指し、アパレルデザインⅠ・Ⅱで習得したデザイン発想力と表現力を用いて描き込みを行う。				
学習目標 (到達目標)	コンペ入選を目指し、徹底的な描き込みと発想力を学習する。新人・名古屋で入選・地方コンペで上位入賞・海外コンペ挑戦。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	デザイン発想とコンペの傾向について		講義・最近のコンテストの入選傾向や素材の使用・加工などについて過去のコンテストグランプリ作品などについて解説		
2	デザイン下描き中間チェック		スケッチブックにデザイン下描き10体宿題中間チェック		
3	デザイン素材制作・デザイン出し①		デザインチェックを基に素材作り加工を行い各自デザイン画作成5枚		
4	デザイン素材制作・デザイン出し②		デザインチェックを基に素材作り加工を行い各自デザイン画作成5枚		
5	デザイン素材制作・デザイン出し③		デザインチェックを基に素材作り加工を行い各自デザイン画作成5枚		
6	ファッションショー用デザイン画作成①		夏のイベントファッションショー用デザイン出し		
7	ファッションショー用デザイン画作成②		夏のイベントファッションショー用デザイン出し		
8	雑貨デザインコンテストデザイン出し		雑貨のデザインコンテスト対策D画下描き		
9	ナゴヤコンテストデザイン出し①		ナゴヤコンテストに向けたD画描き		
10	ナゴヤコンテストデザイン出し②		ナゴヤコンテストに向けたD画描き		
11	ナゴヤコンテストデザイン出し③		ナゴヤコンテストに向けたD画描き		
12	ナゴヤコンテストデザイン出し④		ナゴヤコンテストに向けたD画描き		
13	新人デザイナーコンテストデザイン出し①		新人デザイナー入選に向けたD画描き		
14	新人デザイナーコンテストデザイン出し②		新人デザイナー入選に向けたD画描き		
15	新人デザイナーコンテストデザイン出し③		新人デザイナー入選に向けたD画描き		
16	新人デザイナーコンテストデザイン出し④		新人デザイナー入選に向けたD画描き		
17	海外コンテストデザイン画出し①中国・イタリアコンテスト		海外コンテストデザイン出し		
18	海外コンテストデザイン画出し②中国・イタリアコンテスト		海外コンテストデザイン出し		
19	海外コンテストデザイン画出し③中国・イタリアコンテスト		海外コンテストデザイン出し		
20	海外コンテストデザイン画出し④中国・イタリアコンテスト		海外コンテストデザイン出し		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10%			課題を毎週提出し技術力の向上を図る。また課題評価。評価の高い課題の解説を行う。		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		教員21年			

科目名	アパレルデザインⅢ				
担当教員	松田 大		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッション専攻科、 トータルファッション科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	卒業制作に向けたデザイン出しと洋服の製作				
学習目標 (到達目標)	コンペ入選を目指し、徹底的な描き込みと発想力を学習する。新人・名古屋で入選・地方コンペで上位入賞・海外コンペ挑戦。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	卒業制作ファッションショーに向けたデザイン出し①		卒業制作に向けたデザイン画の制作を行う		
2	卒業制作ファッションショーに向けたデザイン出し②		卒業制作に向けたデザイン画の制作を行う		
3	卒業制作ファッションショーに向けたデザイン出し③		卒業制作に向けたデザイン画の制作を行う		
4	オリジナルブランドデザイン企画①		自分のブランドを企画しデザイン画を描く。ブランドコンセプトマップ作り		
5	オリジナルブランドデザイン企画②		ブランド企画書制作		
6	オリジナルブランドデザイン企画③		ブランド企画書制作		
7	オリジナルブランドデザイン企画④		ブランド企画書制作		
8	オリジナルブランドデザイン企画⑤		ブランド企画書制作		
9	ブランド企画書 プレゼンテーション審査		ブランド企画書を基にプレゼンテーション審査を行う		
10	海外コンテストD画制作		海外コンテストへ向けたデザイン画の作成		
11	海外コンテストD画制作		海外コンテストへ向けたデザイン画の作成		
12	海外コンテストD画制作		海外コンテストへ向けたデザイン画の作成		
13	卒業作品D画作成 1		3年間のまとめ。D画自由課題の作成		
14	卒業作品D画作成 2		3年間のまとめ。D画自由課題の作成		
15	卒業作品D画作成 3		3年間のまとめ。D画自由課題の作成		
16	卒業作品D画作成 4		3年間のまとめ。D画自由課題の作成		
17	卒業作品D画作成 5		3年間のまとめ。D画自由課題の作成		
18	卒業作品D画作成 6		3年間のまとめ。D画自由課題の作成		
19	卒業作品D画作成 7		3年間のまとめ。D画自由課題の作成		
20	D画プレゼンテーション審査		3年間のまとめ。D画のプレゼンテーション審査		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90％、学習意欲10％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題を毎週提出し技術力の向上を図る。また課題評価。評価の高い課題の解説を行う。		
実務経験教員の経歴		教員21年			

科目名	アパレル実習Ⅰ				
担当教員	関谷 友子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	1・3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	6	時間数	120時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	縫製の基本の技術を学び、スカート・パンツの縫製を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	縫製の基本の技術を学び、軽衣料のアイテム製作をきちんと習得する。制作アイテムのパターンメイキングを入れ、素材のチェックを入れることでリアルクローズのデザインも合わせて学ぶ。指示書は必ず先に書く。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	服飾造形の基礎 パンツ・スカート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	年間スケジュール説明、用具名前付け、基礎縫い		服飾造形の基礎P32～43		
2	ミシン、アイロンの使い方、ミシン練習		服飾造形の基礎P149		
3	裏付きスカート講義、スカートパターン配布		パンツ・スカート教科書使用		
4	スカート製作（マーキング、裁断、芯貼り、ロック）		P92～P93		
5	スカート製作（ダーツ縫い、ファスナー作り、裏作り）		P94		
6	スカート製作（ダーツ縫い、ファスナー作り、裏作り）		P94		
7	スカート製作（パンツ作り、脇入れ）		P94		
8	スカート製作（パンツ作り、脇入れ）		P94		
9	スカート製作（裏地合わせ、ベルト付け）		P96～100		
10	まとめ、提出		P96～100		
11	パンツ講義、パンツパターン配布		パンツ・スカート教科書使用		
12	パンツ制作（マーキング、裁断、芯貼り、ロック）		P155		
13	パンツ制作（パーツ作り：玉縁PK、脇PK）		P167		
14	パンツ制作（パーツ作り：玉縁PK、脇PK）		P167		
15	パンツ制作（ファスナー作り、ベルト作り）		P172		
16	パンツ制作（ファスナー作り、ベルト作り）		P172		
17	パンツ制作（脇入れ、股下縫い）		P169		
18	パンツ制作（ベルト付け、裾まつり）		P173		
19	パンツ制作（ベルト付け、裾まつり）		P173		
20	まとめ、提出		P173		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
スカート50％、パンツ50％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			製作物の仕上がりが不完全であればD評価とする場合もあるので、縫製・アイロンは丁寧にやる事。		
実務経験教員の経歴	アパレル業でパタンナー歴7年、生産管理8年、CADオペレーター歴3年係わっていた。				

科目名	アパレル実習Ⅰ				
担当教員	関谷 友子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	1・3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	6	時間数	120時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	シャツ、ジャケットの縫製を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	縫製の基本の技術を学び、軽衣料のアイテム製作をきちんと習得する。制作アイテムのパターンメイキングを入れ、素材のチェックを入れることでリアルクローズのデザインも合わせて学ぶ。指示書は必ず先に書く。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ブラウス・ワンピース、ジャケット・ベスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	シャツ講義、シャツパターン配布		ブラウス・ワンピース教科書使用		
2	シャツ製作（マーキング、裁断、芯貼り、ロック）		P50		
3	シャツ製作（パーツ作り：衿、カフス、剣ボ口、前立て）		P80～87		
4	シャツ製作（パーツ作り：衿、カフス、剣ボ口、前立て）		P80～87		
5	シャツ製作（ヨーク付け、袖付け、脇入れ）		P88～89		
6	シャツ製作（衿付け、カフス付け、裾始末、ホール）		P90		
7	シャツ製作（衿付け、カフス付け、裾始末、ホール）		P90		
8	まとめ、提出		P90		
9	裏なしジャケット講義、ジャケットパターン配布		ジャケット・ベスト教科書使用		
10	ジャケット製作（マーキング、裁断、芯貼り、ロック）		P62、P68～69		
11	ジャケット製作（マーキング、裁断、芯貼り、ロック）		P62、P68～69		
12	ジャケット製作（ダーツ縫い、パーツ作り）		P74～75、P100		
13	ジャケット製作（ダーツ縫い、パーツ作り）		P74～75、P100		
14	ジャケット製作（肩脇入れ、背中心接ぎ）		P76		
15	ジャケット製作（衿付け、見返し作り）		P77		
16	ジャケット製作（袖付け、ロック）		P86		
17	ジャケット製作（袖付け、ロック）		P86		
18	ジャケット製作（身頃合わせ）		P81		
19	ジャケット製作（裾まつり、止めミシン）		P103		
20	まとめ、提出		P103		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
シャツ50％、ジャケット50％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			製作物の仕上がりが不完全であればD評価とする場合もあるので、縫製・アイロンは丁寧にいう事。		
実務経験教員の経歴	アパレル業でパタンナー歴7年、生産管理8年、CADオペレーター歴3年係わっていた。				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	アパレル企画Ⅰ				
担当教員	久島 実里		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	2・3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	80時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.オリジナルブランドの立案 2.ポートフォリオ作成のノウハウ				
学習目標 (到達目標)	オリジナルブランドの立案とリアルクローズでの商品展開・デザイン力を学ぶ				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	Adobe creative cloud				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	導入・ポートフォリオとは・コンセプトとは		Adobe creative cloudインストール		
2	ポートフォリオ構成講義		見本を見ながらポイント解説		
3	コンセプトワーク		ビジュアル表現・レイアウト		
4	ブランド名		ブランド名の考え方・ロゴ・アイコンについて		
5	ターゲット設定		ターゲットの決め方とリサーチ・マーケティングとは		
6	コンセプトとターゲットの整合性		プレゼンテーション		
7	シーズンテーマ・トレンド分析		東京リサーチ		
8	シーズンテーマ2019SS		トレンド分析発表		
9	カラー素材・ディティール		ブランドカラーとシーズンテーマに沿った素材の決定		
10	アイテム構成		マーチャンダイジング理論に則ったアイテム構成比の算出 方法		
11	デザイン発想		コンセプトに沿ったデザインの発送方法と表現方法		
12	デザインチェック		チェックと修正		
13	デザイン画表現①		デザイン画の表現方法・着彩方法		
14	デザイン画表現②		デザイン画の表現方法・着彩方法		
15	コレクションワーク①		コレクションルックとして展開表現講義		
16	コレクションワーク②		コレクションルックとして展開表現講義		
17	ポートフォリオレイアウト①		レイアウトのテクニック・文字		
18	ポートフォリオレイアウト②		レイアウトのテクニック・画像		
19	ポートフォリオレイアウト③		レイアウトのテクニック・ページ構成		
20	プレゼンテーション		企画書の発表		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：ポートフォリオ/デザイン画 企画書の完成度40%、デザイン画のクオリティ40%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。			コンセプトワークを理解し、独自性がありかつ、共有性の あるブランドを立案すること。課題は全て提出し、こた わって制作すること		
実務経験教員の経歴	家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

科目名	アパレル企画Ⅰ				
担当教員	久島 実里		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	2・3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	80時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.オリジナルブランドを元にテキスタイルのデザイン 2.オリジナルのデザイン・パターン・素材の追求 3.プレゼンテーション能力の向上				
学習目標 (到達目標)	前期で立案したブランドを元に各自でデザインなどを追求し、プレゼンテーションで伝える力を身につける				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	Adobe creative cloud				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	プレゼンテーションワーク		プレゼンテーションのノウハウ・話し方		
2	プレゼンテーションワーク		プレゼンテーション練習		
3	プレゼンテーション本番①		プレゼンテーション審査①		
4	プレゼンテーション本番①		プレゼンテーション審査②		
5	テキスタイルデザイン		テキスタイルデザイン・リピートの付け方		
6	テキスタイルデザイン		テキスタイルデザインの応用		
7	デザイン研究・掘り下げ		サンプル説明・掘り下げテーマ設定		
8	デザインラフチェック①		ラフデザイン10体		
9	デザインラフチェック①		ラフデザイン10体		
10	デザインラフチェック②		ラフデザイン10体		
11	デザインラフチェック②		ラフデザイン10体		
12	デジタルデザイン画①		イラストレーターを使用したデザインテクニック		
13	デジタルデザイン画②		イラストレーターを使用したデザインテクニック		
14	デジタルデザイン画③		フォトショップを使用したデザインテクニック		
15	デジタルデザイン画④		フォトショップを使用したデザインテクニック		
16	ポートフォリオ表現①		レイアウト・ページ構成		
17	ポートフォリオ表現②		レイアウト・ページ構成		
18	ポートフォリオ表現③		最終デザイン画5体		
19	最終プレゼンテーション		プレゼンテーション審査		
20	作品評価・講評		発表と講評		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：ポートフォリオ/デザイン画 企画書の完成度40%、デザイン画のクオリティ40%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。			コンセプトワークを理解し、独自性がありかつ、共有性のあるブランドを立案すること。課題は全て提出し、こだわって制作すること		
実務経験教員の経歴	家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

科目名	ドレーピングⅠ				
担当教員	金房 洋子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	2・3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	地直し、アイロンテクニック、シーチング操作を学び、ドラフティングから工業用まで縫い代付けパターンを習得する。				
学習目標 (到達目標)	トワルの組み方から、ピンワーク・ドレーピングの基礎を学習する。着地はシャツ/ブラウス/スカート				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	立体裁断				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	導入、ライン入れ、ボディ採寸		P10～40		
2	地直し		P41		
3	地直しテスト		P41		
4	ピンの打ち方、原形ドレーピング		P38		
5	ピンの打ち方、原形ドレーピング		P38		
6	ドラフティング		P46		
7	ドラフティング		P46		
8	ドラフティング		P46		
9	ドラフティング、生地準備		地直し注意		
10	シャツカラー		P79		
11	シャツカラー		P79		
12	シャツカラー		P79		
13	袖付け方		P81		
14	袖付け方		P81		
15	袖付け方		P81		
16	生地準備		地直し注意		
17	フレアスカート		P106～123		
18	フレアスカート		P106～123		
19	フレアスカート		P106～123		
20	スカートまとめ		ボディに着せ付け提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内課題100％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			製作物の仕上がりが不完全であればD評価とする場合もあるので、作図方法が合っているだけでなく、綺麗な線、曲線、各アイテムをバランス良く引くようにする。		
実務経験教員の経歴	パタンナーとしてメーカーで6年、独立して25年係わっている				

科目名	ドレーピングⅠ				
担当教員	金房 洋子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	2・3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	地直し、アイロンテクニック、シーチング操作を学び、ドラフティングから工業用まで縫い代付けパターンを習得する。				
学習目標 (到達目標)	トワルの組み方から、ピンワーク・ドレーピングの基礎を学習する。着地はシャツ/ブラウス/スカート				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	立体裁断				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	テーラードジャケットA作図、身頃		P179～191		
2	テーラードジャケットA作図、袖		P179～191		
3	テーラードジャケットA作図、衿		P179～191		
4	テーラードジャケットA作図、トワル		P179～191		
5	テーラードジャケットA作図、トワル		P179～191		
6	テーラードジャケットA作図、組立て		P179～191		
7	テーラードジャケットA作図、組立て		P179～191		
8	テーラードジャケットA作図、作図展開		P179～191		
9	テーラードジャケットA作図、作図展開		P179～191		
10	テーラードジャケットB作図、身頃		P200～208		
11	テーラードジャケットB作図、身頃		P200～208		
12	テーラードジャケットB作図、袖		P200～208		
13	テーラードジャケットB作図、衿		P200～208		
14	テーラードジャケットB作図、トワル		P200～208		
15	テーラードジャケットB作図、トワル		P200～208		
16	テーラードジャケットB作図、組立て		P200～208		
17	テーラードジャケットB作図、作図展開		P200～208		
18	提出、生地準備		地直し注意		
19	ジャケットテスト		AかBを出題		
20	まとめ		トワルに着せ付け提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内課題100％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			製作物の仕上がりが不完全であればD評価とする場合もあるので、作図方法が合っているだけでなく、綺麗な線、曲線、各アイテムをバランス良く引くようにする。		
実務経験教員の経歴	パタンナーとしてメーカーで6年、独立して25年係わっている				

科目名	英会話				
担当教員	マッティア ラレセ		実務授業の有無	○	
対象学科	トータルファッション科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	リスニング&スピーキング力を身につけ、英会話のコミュニケーション能力を高める				
学習目標 (到達目標)	英語でのコミュニケーション力を高める。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Interchange 4th edition Level 3				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	people discuss the type of partner they like / discuss three adjectives to describe yourself / 関係代名詞		リスニング、スピーキング、会話 P2~3		
2	people discuss the type of partner they like / discuss three adjectives to describe yourself / 関係代名詞		リスニング、スピーキング、会話 P4~5		
3	people discuss likes and dislikes in people / interview classmates to find out about their personality / 副詞節		リスニング、スピーキング、人々の描写 P6		
4	people discuss their jobs / career debate. What job would you like to do? / 形容詞・比較		リスニング、スピーキング、仕事 P8~10		
5	discussing jobs / compare various jobs to each other / 接尾辞・比較		リスニング、スピーキング、3つの形容詞で自身を描写 P11~12		
6	People's biggest complaints / roleplay a job interview / 比較		リスニング、スピーキング P14~15		
7	Would you mind conversation		リスニング、スピーキング、ifの使い方 P16~17		
8	make a request using modals		リスニング、スピーキング、様式を使って話す P18		
9	Unstressed consonants t/d/k/g/b/ Discussing favours and passing on messages / 自然な語の使い方		リスニング、スピーキング、間接 P19~20		
10	TV stories with a surprise ending / intonation in complex sentences / 過去形・過去進行形		リスニング、スピーキング、過去形と過去進行形を使って会話、P22~23		
11	a news broadcast / discuss if the news broadcasts had a happy ending / 過去完了形		リスニング、スピーキング、過去完了形 P24~26		
12	what comes first / from A to B / 過去完了形		リスニング、スピーキング P28~29		
13	moving to a foreign country / word stress in sentences and discussing culture shock / 相対句を含む名詞		リスニング、スピーキング、海外へ行くとき P30~32		
14	different customs around the world / Expectations		リスニング、スピーキング P33~34		
15	different customs around the world / Expectations		リスニング、スピーキング P35~36		
16	customers return items to a store / return an item to a store / 形容詞としての過去分詞		リスニング、スピーキング、教室内の問題 P37~39		
17	people discussing repair jobs / Contrastive stress / 現在進行形・現在完了形の受動態		リスニング、スピーキング P40~43		
18	復習		前期復習 P2~23		
19	復習		前期復習 P24~46		
20	まとめ		前期まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			応用しながら、さらリスニング力とスピーキング力を高めるために積極的に学ぶこと。リスニングで聞き取れるようになること。積極的に会話すること。		
実務経験教員の経歴	高校や英会話教室で3年以上教鞭を取る				

科目名	英会話				
担当教員	マッティア ラレセ		実務授業の有無	○	
対象学科	トータルファッション科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	リスニング&スピーキング力を身につけ、英会話のコミュニケーション能力を高める				
学習目標 (到達目標)	英語でのコミュニケーション力を高める。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Interchange 4th edition Level 3				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	problems in a city / Which of the problems in the listening affect your city / 現在進行形・現在完了形の受動態		リスニング、スピーキング、自国の環境問題 P44~46		
2	problems and solutions / Describe and discuss the photos		リスニング、スピーキング P47~48		
3	college life and study / asking would questions and intonation practice / would rather and would preferの使い方		リスニング、スピーキング、英語を学ぶこと P50~52		
4	ways to learn different things / how the students developed their own skills / 動名詞		リスニング、スピーキング P53~54		
5	conversations on recent events and activities / students discuss how they improve their English		リスニング、スピーキング、英語力の改善 P56~57		
6	advertisements on a local radio / Discuss services you use / 副詞		リスニング、スピーキング、文章の強音 P58~59		
7	a conversation about dating / discuss services in Japan how do they differ from other countries / 動詞・動名詞		リスニング、スピーキング、日本のサービス P60~62		
8	General knowledge / discussing fads / 過去の時間と期間		リスニング、スピーキング、音節の強音 P64~65		
9	general knowledge quiz about history / discussing how historical events. Changed the future / 未来予測		リスニング、スピーキング、未来の出来事 P66~68		
10	a conversation about history / discuss problems and give advice		リスニング、スピーキング、過去の描写 P70~72		
11	listen to a conversation discussing the past / Discuss your life using clauses / 時間節		リスニング、スピーキング、行動と性格 P73~74		
12	listen to a conversation discussing the past / Discuss your life using clauses / 時間節		リスニング、スピーキング、行動と性格 P75~76		
13	shopping mall surveys / reduced words / 不定詞節		リスニング、スピーキング、将来の目的 P78~80		
14	Business commercial / catchy slogans / 理由		リスニング、スピーキング P81~85		
15	People discussing their pet peeves / reduction of past modals / 確実な過去		リスニング、スピーキング P86~90		
16	Why people love their jobs / describe your favorite movies / 過去分詞		リスニング、スピーキング、複合名詞 P92~93		
17	Why people love their jobs / describe your favorite movies / 過去分詞		リスニング、スピーキング、複合名詞 P94~95		
18	復習		後期復習 P47~68		
19	復習		後期復習 P70~95		
20	まとめ		総まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			応用しながら、さらリスニング力とスピーキング力を高めるために積極的に学ぶこと。リスニングで聞き取れるようになること。積極的に会話すること。		
実務経験教員の経歴		高校や英会話教室で3年以上教鞭を取る			

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	パターンⅠ				
担当教員	松田 百代			実務授業の有無	○
対象学科	ファッションデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	1・3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	5	時間数	100時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1、パターン用語、道具の使用方法 2、各アイテムの基礎製図の習得 3、ノートをファイリングし提出する。				
学習目標 (到達目標)	シャツブラウス、スカート、パンツ等の作図を縮尺で基本を習得し実物作図によるアイテムシルエットを確実に理解する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	服飾造形の基礎、ブラウス・ワンピース、スカート・パンツ、ダーツ移動プリント配布				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	用語、道具説明、サイズ測定			服飾造形の基礎P32～36	
2	ダーツ移動作図			プリント配布、胸、肩、ウエスト、脇、後、前中心	
3	ダーツ移動作図			プリント配布、胸、肩、ウエスト、脇、後、前中心	
4	タイトスカート作図			パンツ・スカートP23～25	
5	タイトスカート作図			パンツ・スカートP23～25	
6	スカートバリエーション			パンツ・スカートP50～64	
7	スカートバリエーション			パンツ・スカートP50～64	
8	スカートバリエーション			パンツ・スカートP50～64	
9	パンツ作図			パンツ・スカートP136～139	
10	パンツ作図			パンツ・スカートP136～139	
11	パンツバリエーション			パンツ・スカートP140～153	
12	パンツバリエーション			パンツ・スカートP140～153	
13	シャツ作図			ブラウス・ワンピースP25～P28	
14	シャツ作図			ブラウス・ワンピースP25～P28	
15	シャツ作図			ブラウス・ワンピースP25～P28	
16	シャツバリエーション（衿）			ブラウス・ワンピースP29～35	
17	シャツバリエーション（衿）			ブラウス・ワンピースP29～35	
18	シャツバリエーション（袖）			ブラウス・ワンピースP39～43	
19	シャツバリエーション（袖）			ブラウス・ワンピースP39～43	
20	復習			ノートをまとめて提出	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
ノート提出40％、試験60％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				作図方法が合っているだけではなく、綺麗な線、曲線、各アイテムをバランス良く引くようにする。	
実務経験教員の経歴	CADオペレーター、現場班長として縫製現場において10年間関わっていた。				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	パターンⅠ				
担当教員	松田 百代			実務授業の有無	○
対象学科	ファッションデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	1・3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	5	時間数	100時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ワンピース、ジャケット製図 2、各アイテムのバリエーション製図 3、ノートをファイリングし提出する。				
学習目標 (到達目標)	ワンピース、ジャケット等の作図を縮尺で基本を習得し実物作図によるアイテムシルエットを確実に理解する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ブラウス・ワンピース、ジャケット・コート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	前期復習		ジャケット作図		
2	ワンピース作図		ブラウス・ワンピースP139～143		
3	ワンピース作図		ブラウス・ワンピースP139～143		
4	ワンピースバリエーション		ブラウス・ワンピースP153～164		
5	ワンピースバリエーション		ブラウス・ワンピースP153～164		
6	ワンピースバリエーション		ブラウス・ワンピースP153～164		
7	囲み製図		プリント配布		
8	ジャケット作図		ジャケット・ベストP23～27		
9	ジャケット作図		ジャケット・ベストP23～27		
10	ジャケット作図		ジャケット・ベストP23～27		
11	ジャケット作図		ジャケット・ベストP23～27		
12	ジャケットバリエーション		ジャケット・ベストP23～27P39		
13	ジャケットバリエーション		ジャケット・ベストP23～27P39		
14	ジャケットバリエーション		ジャケット・ベストP23～27P39		
15	ジャケットバリエーション		ジャケット・ベストP23～27P39		
16	ジャケットバリエーション		ジャケット・ベストP23～27P39		
17	ジャケットバリエーション		ジャケット・ベストP23～27P39		
18	ジャケットバリエーション		ジャケット・ベストP23～27P39		
19	ジャケットバリエーション		ジャケット・ベストP23～27P39		
20	復習		ノートをまとめて提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
ノート提出40％、試験60％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			作図方法が合っているだけではなく、綺麗な線、曲線、各アイテムをバランス良く引くようにする。		
実務経験教員の経歴	CADオペレーター、現場班長として縫製現場において10年間関わっていた。				

科目名	C A D I				
担当教員	関川 政春			実務授業の有無	○
対象学科	ファッションデザイン科、 プライダルコスチュームデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	1・3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.東レACS㈱のCREA COMPO II Pattern Magic II 使用によるアパレルパターン作成。 2.ファッション企業パターンメーカーとしてのアパレルCAD知識、技術の習得。 3.課題作成テキストのプリントを配布し、実習によりパターンを作成し提出する。				
学習目標 (到達目標)	1.パターンデータ(原型など)の入力ができる。 2.CADパターン展開で、デザインパターンを作成できる。 3.CAD縫い代付けで、工業パターンが作成できる。 4.CADデータを保存・検索できる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教師作成のCAD実習課題テキストをプリント配布する。				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	アパレルCADソフトインストール		実習(CADソフトインストール)手順説明と実行。		
2	イントロダクション		講義 ファッション企業におけるアパレルCADの使われ方。CAD I の学習方法など解説する。		
3	課題1.直線をひく1		実習(白紙キャンパスに作成) 配布プリント 課題1のP1～P2		
4	課題1.直線をひく2		実習(白紙キャンパスに作成) 配布プリント 課題1のP3		
5	課題1.直線をひく2		実習(白紙キャンパスに作成) 配布プリント 課題1のP3		
6	課題2.ダーツを移動する1		実習(上身頃原型から作成) 配布プリント 課題2のP1～P2		
7	課題2.ダーツを移動する1		実習(上身頃原型から作成) 配布プリント 課題2のP1～P2		
8	課題2.ダーツを移動する2		実習(上身頃原型から作成) 配布プリント 課題2のP3		
9	課題2.ダーツを移動する2		実習(上身頃原型から作成) 配布プリント 課題2のP3		
10	課題2.ダーツを移動する2		実習(上身頃原型から作成) 配布プリント 課題2のP3		
11	課題3.パーツ名を付ける1		実習(基本ドレス原型から作成) 配布プリント 課題3のP1～P2		
12	課題3.パーツ名を付ける1		実習(基本ドレス原型から作成) 配布プリント 課題3のP1～P2		
13	課題3.パーツ名を付ける2		実習(基本ドレス原型から作成) 配布プリント 課題3のP3～P4		
14	課題3.パーツ名を付ける2		実習(基本ドレス原型から作成) 配布プリント 課題3のP3～P4		
15	課題4.縫い代を付ける1		実習(基本ドレス原型から作成) 配布プリント 課題3のP1～P3		
16	課題4.縫い代を付ける1		実習(基本ドレス原型から作成) 配布プリント 課題3のP1～P3		
17	課題4.縫い代を付ける1		実習(基本ドレス原型から作成) 配布プリント 課題3のP1～P3		
18	課題4.縫い代を付ける2		実習(基本ドレス原型から作成) 配布プリント 課題3のP4～P6		
19	課題4.縫い代を付ける2		実習(基本ドレス原型から作成) 配布プリント 課題3のP4～P6		
20	課題4.縫い代を付ける2		実習(基本ドレス原型から作成) 配布プリント 課題3のP4～P6		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実習課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			CAD処理メニュー知識が不足していると実習が理解できないことがある。 必須の課題は、全て提出すること。		
実務経験教員の経歴	パターンメーカー(洋服設計者)として、アパレル企業現場において13年間関わっていた。				

科目名	C A D I				
担当教員	関川 政春		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	1・3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.東レACS㈱のCREA COMPO II Pattern Magic II 使用によるアパレルパターン作成。 2.ファッション企業パターンメーカーとしてのアパレルCAD知識、技術の習得。 3.課題作成テキストのプリントを配布し、実習によりパターンを作成し提出する。				
学習目標 (到達目標)	1.パターンデータ(原型など)の入力ができる。 2.CADパターン展開で、デザインパターンを作成できる。 3.CAD縫い代付けで、工業パターンが作成できる。 4.CADデータを保存・検索できる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教師作成のCAD実習課題テキストをプリント配布する。				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	課題5.スタンドカラーを作る1		実習(上身頃原型から作成) 配布プリント 課題5のP1～P3		
2	課題5.スタンドカラーを作る2		実習(上身頃原型から作成) 配布プリント 課題5のP4～P6		
3	課題5.スタンドカラーを作る2		実習(上身頃原型から作成) 配布プリント 課題5のP4～P6		
4	課題6.袖のカフス、短冊(ケンボロ)を作る1		実習(袖原型から作成) 配布プリント 課題6のP1～P2		
5	課題6.袖のカフス、短冊(ケンボロ)を作る1		実習(袖原型から作成) 配布プリント 課題6のP1～P2		
6	課題6.袖のカフス、短冊(ケンボロ)を作る2		実習(袖原型から作成) 配布プリント 課題6のP3～P4		
7	課題6.袖のカフス、短冊(ケンボロ)を作る2		実習(袖原型から作成) 配布プリント 課題6のP3～P4		
8	課題6.袖のカフス、短冊(ケンボロ)を作る3		実習(袖原型から作成) 配布プリント 課題6のP5～P6		
9	課題6.袖のカフス、短冊(ケンボロ)を作る3		実習(袖原型から作成) 配布プリント 課題6のP5～P6		
10	課題6.袖のカフス、短冊(ケンボロ)を作る3		実習(袖原型から作成) 配布プリント 課題6のP5～P6		
11	課題7.スカート表裏に縫い代を付ける1		実習(表裏スカートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP1～P2		
12	課題7.スカート表裏に縫い代を付ける1		実習(表裏スカートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP1～P2		
13	課題7.スカート表裏に縫い代を付ける2		実習(表裏スカートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP3～P4		
14	課題7.スカート表裏に縫い代を付ける2		実習(表裏スカートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP3～P4		
15	課題7.スカート表裏に縫い代を付ける3		実習(表裏スカートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP5～P6		
16	課題7.スカート表裏に縫い代を付ける3		実習(表裏スカートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP5～P6		
17	課題7.スカート表裏に縫い代を付ける3		実習(表裏スカートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP5～P6		
18	課題7.スカート表裏に縫い代を付ける4		実習(表裏スカートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP7～P8		
19	課題7.スカート表裏に縫い代を付ける4		実習(表裏スカートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP7～P8		
20	課題7.スカート表裏に縫い代を付ける4		実習(表裏スカートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP7～P8		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実習課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			CAD処理メニュー知識が不足していると実習が理解できないことがある。 必須の課題は、全て提出すること。		
実務経験教員の経歴	パターンメーカー(洋服設計者)として、アパレル企業現場において13年間係わっていた。				

科目名	3DCG・CAD				
担当教員	関川 政春		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	1・3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方					
学習目標 (到達目標)					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実習課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			CAD処理メニュー知識が不足していると実習が理解できないことがある。 必須の課題は、全て提出すること。		
実務経験教員の経歴			パタンメーカー(洋服設計者)として、アパレル企業現場において13年間係わっていた。		

科目名		3DCG・CAD									
担当教員		関川 政春		実務授業の有無		○					
対象学科		ファッションデザイン科、 トータルファッション科		対象学年		1・3		開講時期		前期	
必修・選択		必修		単位数		1		時間数		20時間	
授業形態		対面授業のみ		対面授業と遠隔授業の併用				遠隔授業			
授業概要、目的、 授業の進め方											
学習目標 (到達目標)											
テキスト・教材・参 考図書・その他資料											
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
評価方法・成績評価基準							履修上の注意				
実習課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							CAD処理メニュー知識が不足していると実習が理解できないことがある。 必須の課題は、全て提出すること。				
実務経験教員の経歴		パタンメーカー(洋服設計者)として、アパレル企業現場において13年間係わっていた。									

科目名	就職実務 III				
担当教員	松田 百代		実務授業の有無	×	
対象学科	トータルファッション科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1、就職の面接練習 2、企業研究の方法を知る 3、エントリーシート対策				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	自己PR文章作成1		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
2	自己PR文章作成2		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
3	自己PR文章作成3		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
4	GD対策1		GD対策授業面接練習		
5	GD対策2		GD対策授業面接練習		
6	GD対策3		GD対策授業面接練習		
7	グループ面接対策1		グループ面接実践		
8	グループ面接対策2		グループ面接実践		
9	グループ面接対策3		グループ面接実践		
10	グループ面接対策4		グループ面接実践		
11	メールのマナー・添え状・お礼状など		メールでの文章作成の基本。添え状テンプレート作成		
12	企業リスタアップ1		企業研究を深め企業を絞り込む		
13	企業リスタアップ2		企業研究を深め企業を絞り込む		
14	適性検査の基本		適性検査について評価のポイント		
15	SPA対策		SPA試験対策指導		
16	社会人マナー検定対策1		社会人常識マナー検定対策授業		
17	社会人マナー検定対策2		社会人常識マナー検定対策授業		
18	社会人マナー検定対策3		社会人常識マナー検定対策授業		
19	社会人マナー検定対策4		社会人常識マナー検定対策授業		
20	社会人マナー検定対策5		社会人常識マナー検定対策授業		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
社会人常識マナー検定模擬試験での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	CADオペレーター、現場班長として縫製現場において10年間係わっていた。				

科目名	就職実務 III				
担当教員	松田 百代		実務授業の有無	×	
対象学科	トータルファッション科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1、就職の面接練習 2、企業研究の方法を知る 3、エントリーシート対策				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	社会人常識マナー検定対策6		社会人常識マナー検定対策授業		
2	社会人常識マナー検定対策7		社会人常識マナー検定対策授業		
3	社会人常識マナー検定対策8		社会人常識マナー検定対策授業		
4	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
5	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
6	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
7	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
8	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
9	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
10	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
11	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
12	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
13	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
14	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
15	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
16	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
17	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
18	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
19	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
20	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
社会人常識マナー検定模擬試験での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	CADオペレーター、現場班長として縫製現場において10年間関わっていた。				

科目名	産学連携プログラム				
担当教員		神戸 悠太		実務授業の有無	○
対象学科	ファッションデザイン科 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	伊勢丹×NITF×五泉ニット企業との連携で、NITFオリジナルブランドの企画～販売を実施する。				
学習目標 (到達目標)	オリジナルブランドの企画から製造・プロモーション・販売を行い、実践的なブランド運営を学ぶ。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	特に無し				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	商品の振り返り		昨年の製品を検討し、デザイン・色・値段・接客対応の仕方		
2	商品の振り返り		昨年の製品を検討し、デザイン・色・値段・接客対応の仕方		
3	商品の振り返り		昨年の製品を検討し、デザイン・色・値段・接客対応の仕方		
4	商品の振り返り		昨年の製品を検討し、デザイン・色・値段・接客対応の仕方		
5	次年度のデザイン検討会		2020年度秋冬企画		
6	次年度のデザイン検討会		2020年度秋冬企画		
7	次年度のデザイン検討会		2020年度秋冬企画		
8	次年度のデザイン検討会		2020年度秋冬企画		
9	素材選定・色検討		サンプル生地手配		
10	素材選定・色検討		サンプル生地手配		
11	素材選定・色検討		サンプル生地手配		
12	素材選定・色検討		サンプル生地手配		
13	素材選定・色検討		サンプル生地手配		
14	デザイン画ミーティング・提出		アイテム別デザイン出し		
15	デザイン画ミーティング・提出		アイテム別デザイン出し		
16	デザイン画ミーティング・提出		アイテム別デザイン出し		
17	デザイン決定		アイテム別デザイン・素材決定		
18	デザイン決定		アイテム別デザイン・素材決定		
19	デザイン決定		アイテム別デザイン・素材決定		
20	デザイン決定		アイテム別デザイン・素材決定		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実習課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特に無し		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				